

▼ 児童全員が集まった朝の会で贈呈式



## 花 朝日小学校に人権の花運動感謝状 を育て、思いやりの心をはぐくむ

人権の花運動に参加した朝日小学校は、人権思想の普及高揚に大きな成果をおさめたとして、福島地方法務局から感謝状を受けました。贈呈式は12月15日、朝日小学校体育館でおこなわれ、只見町担当の人権擁護委員藤田節子さんから栗村良輔校長と児童代表の馬場夕稀君に感謝状が手渡されました。朝日小では、平成20年6月から6つのプランターにマリーゴールド、サルビアの種をまき、きれいな花を咲かせ、命の大切さを学びました。



①



②



③

## 笑 2008クリスマス 笑顔がいっぱいありました

12月、サンタクロースは大忙しでした。皆さんは、どのようなクリスマスを過ごしましたか。町内でも、さまざまなクリスマスイベントがおこなわれました。その一部を紹介します。

やまびこで活動している「こまどり会」と「たんぼの会」は12月14日に合同でクリスマス会を開き、36人が餅つきやフォークダンスで交流を深めました。田島ロータリークラブの小椋国光さんから参加者へ2種類のケーキが贈られ、関係者は甘いクリスマスプレゼントに喜んでいました。(写真①)

明和地区センターで活動している「すくすく赤ちゃんクラブ」は12月15日、ミニクリスマスリース作りをしました。二軒在家の山内聖子さんを講師に、11組の親子が山から採ってきた松ボックリなどの材料で、約2時間かけてリースを完成させました。(写真②)

12月16日に只見地区センターでおこなわれた「お父さんお母さんと遊ぼうコアラクラブ」のクリスマス会では、参加者とスタッフ約80人が、リース作りや楽器遊びをして楽しみました。小さな子どもはプレゼントを渡すサンタさんにびっくりしながらも、喜んでいました。(写真③)

▼ 教室はただみコミュニティークラブが主催した



## 親子ふれあい運動教室 コーディネーショントレーニングで汗

12月14日只見中学校体育館で第2回親子ふれあい運動教室が開かれ、小学3年生までの25組の親子が参加しました。講師に会津坂下町の二瓶恭子さんを迎え、コーディネーショントレーニングという運動能力と情操を高めるトレーニングを楽しみました。参加者は「身体を動かして子どもとふれあうことの大切さを実感しました」と話していました。

▼ 若者が気楽に集える場がもっともっとあっていい



## 9 只見ロックフェスティバル'08 組のバンドが只見の夜を熱くした

「世界エイズデー」の趣旨に賛同した町内のバンドが、12月6日只見スキー場レストハウスでコンサートを開き、エイズの防止と患者に対する差別や偏見の解消を訴えました。今年で3回目となるこの取り組みはすっかり定着し、会場には若者を中心に約150人が詰め掛け、降雪前のレストハウスは熱気につつまれました。

## 「着」只見町観光振興プロジェクト事業講演会 地型旅行会社に期待すること・されること

12月19日湯ら里で開かれた旅行代理店JTB清水慎一常務取締役の講演会に、町内外から約50人が参加しました。講演で清水取締役は、JR東日本仙台支社長の時に只見線にSL運行を開始した当時の様子や、奥会津地域の魅力の磨き方について話しました。また、行政でも観光協会でも商工会でもない「まちづくり株式会社」の必要性について提言がありました。



▲ まちづくり株式会社の社長を公募しては？

## 「不」五十嵐英さん（只見）が本を出版 動尊と海老作家

五十嵐さんの家は、代々、修験道をきわめたホウインでした。しかし明治新政府の政策により、修験道はなくなりました。五十嵐家は、その後も先祖と信者が建立した要害山の近くにある大土山の不動堂を守ってきました。84歳になった五十嵐さんは、昨年4月不動堂の世話役を引退。これを機に、家の古文書を一目でわかるように整理し、近所や親戚の方に配るために出版しました。



▲ 出版した本を手に自家不動尊の祭壇の前で